

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立中央小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒920-0865  
石川県金沢市長町1丁目10番35号

E-mail : chuuou-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : http://www/kanazawa-city.ed.jp/chuuou-e/

児童生徒数：男 249名 女子 264名 合計 513名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

# 金沢市立中央小学校

## 【はじめに】

本校は、旧長町・長土堀・松ヶ枝町・芳音町の4つの小学校を統合し、昭和62年に開校した。学校の周囲には、鞍月用水・大野庄用水が流れており、ホタルをはじめとして、様々な水生生物を観察することができる。また、校区には、金沢市民の台所である近江町市場、市民芸術村や玉川子ども図書館などの文化施設があり、加賀藩政期の面影を残す長町武家屋敷群や尾山神社などをはじめとする歴史的文化財も数多く現存するなど、教育資源に恵まれた地域である。

平成22年度にユネスコスクールの認定を受け、豊かな教育資源を活用した持続発展教育に取り組んでいる。

## 出会い 発見 探究 行動 ～歴史の息づくまち 美しい環境を未来へ～

### 1 ユネスコスクールとしての取組

#### (1) 取組の概要

本校では、総合的な学習の時間や生活科を中心に各教科との連携を図りながら、地域の「人・もの・こと」とかかわり合い、自分を見つめ直す学習を通して、それらのよさを再発見、再評価するとともに、自ら考え判断し行動する力と豊かな心を育てている。また、地域の環境や伝統文化に関心を持ち、調査等を通して自然環境の保全や伝統文化等を継承発展していく持続発展可能な社会の担い手を育成することをねらい、学習を進めている。

#### (2) 実践のねらい

- ・地域の自然環境、伝統文化との出会い(体験)を通して、地域や人々のよさを発見(再発見・再評価)し、地域により一層愛着をもつとともに、自然環境を守ったり伝統文化を継承・発表したりするために自分達にできることを考え、行動していくことができるようにする。(総合的な学習の時間の内容充実)
- ・問題意識をもって調査・体験し、整理・分析しながら、さらに新たな問題意識を生み出し、探究していくことができるようにする。(総合的な学習の時間のより探究化)
- ・地域の自然環境や伝統文化について考えたことについて、相手意識をもって表現し、発信、交流する中で、それぞれの地域の特性や取組のよさを知り、自分達にできることについて改めて考えることができるようにする。(ネットワーク化)

#### (3) 実践例

学 年	総合的な学習の時間・生活科	関連する教科
第1学年	昔遊びに挑戦！ 大きくなったねわたしたち	いいこといっぱい一年生 (国語)
第2学年	ぐんぐんそたてみんなのやさい たんけん ほっけん 大ほっけん パートⅠ・Ⅱ	かんさつ名人になろう (国語)
第3学年	金沢の伝統行事を学ぶ 夢未来ふるさと応援隊 ～近江町市場の人気のひみつをさぐれ～	電気の通り道 (理科) 店ではたらく人 (社会)
第4学年	金沢の伝統工芸 金沢の偉人 ふるさと再発見 ～用水調査隊～	電気の働き (理科) 金属・水・空気と温度 (理科) 用水をひらく (社会) 住みよい暮らしを作る (社会)
第5学年	つなげよう！奥山・里山とわたしたち 金沢の食文化	流れる水の働き (理科) 電気の働き (理科) 私たちの生活と環境 (社会) これからの食料生産と私たち (社会) 元気な毎日と食べ物 (家庭科)
第6学年	中央校区環境白書 金沢のまちを学ぶ ～金沢博士になろう～ かなえようわたしの夢	電気でわたしたちの暮らし (理科) 生物と環境 (理科)
児童会	東日本大震災支援 ～アルミ缶リサイクル・被災地の学校との交流～	

以下、第3学年～第6学年の総合的な学習の時間について概要を述べる。

① 第3学年 近江町市場の人気のひみつをさぐれ

近江町市場は、校区にありながらあまり子ども意識は高くない。そこで『近江町の人気のひみつ』をキーワードにし学習を行った。見学の計画を立て現地を調査したり、お店の人やお客さんにインタビュー活動を行い(写真1)、探っていった。特にインタビューのやり方を工夫することで、人気のひみつに迫ることができた。また、そのことをかるたに表し、発信することで学習したことを深めることができた。



写真1 近江町インタビュー

② 第4学年 ふるさと再発見 ～用水調査隊～

導入で用水をキーワードにイメージマップを書かせ、用水に対する思いを考えることで、「その働きやよさについて考えていこう」という単元を通した課題を設定した。最初は身近な大野庄用水と鞍月用水の生物調査から学習を始めた(写真2)。生物指標に照らして、用水の水質について考察したり、用水の源がどこかを考えたりする中で、水質保全の大切さに気づくことができた。さらに、町並みと用水の関係や金沢市の用水保全条例について考えていくことで、地域と行政が一体となって用水を守っていることに気づき、これから用水を守っていかなければならないという課題を発見することができた。



写真2 用水生物調査

③ 第5学年 つなげよう！奥山・里山とわたしたち

里山の現地調査を行い(写真3)、体験的・探求的に学習を進めた。里山と自分達の住む市街地とのつながりから、<なぜ里山の森に手を入れることが必要なのか><里山を守るために、私たちにできることは何か>などの課題を見つけ、積極的に調査を行う中で、里山の抱える問題や持続発展する未来の里山のために自分達ができることを考えることができた。現地調査では、専門家の話を聞く機会や様々な体験も行った。



写真3 里山現地調査

④ 第6学年 金沢のまちを学ぶ～金沢博士になろう～

金沢にある名所や歴史的建造物、文化について調査し、その魅力について、他校の児童(小松市立木場小学校6年児童)に案内した(写真4)。自分の案内場所(紹介したい場所)について詳しく調べたり、友達同士で紹介内容を確認したりすることで、新たな課題を自ら発見したり、伝えやすくする工夫を考えたりするなど、積極的に探求的に学習を進めることができた。



写真4 木場小の6年生に案内

⑤ 児童会

今年度も、東日本大震災支援としてアルミ缶集めを行い、収益金を大船渡市立綾里小学校と気仙沼市立大谷小学校に贈った。今後は、収益金を送るだけでなく交流を続けていけるように、手紙を書いて送る等の活動を取り入れていきたい。

## 2 成果と課題

ESDの視点を取り入れて地域や地域にくらす人々と積極的にかかわる活動を継続してきたことで、それらのよさを実感し、より一層地域に愛着をもつようになった。また、学習がより探究的になり、調査・体験する中で得た情報を整理、分析したり話し合ったりしながら、地域が抱える課題について自分なりの解決策を考えようとする意識も高まった。地域や人とかかわることで、自分達ができることを見つけ、取り組もうとする姿も見られた。今年度は、昨年に続き小松市立木場小学校の児童と直接交流する機会をもつことができた。さらに、他教科との関わりを持たせながら学習を進めることもできた。

今後は、これらの学習を持続・発展させていくことができるよう、学習内容を精選したり、これまでに以上に教科学習とのクロスカリキュラムについて工夫を行っていくことが必要である。また、説得力のある成果物にまとめたり、分かりやすく発信したりできるような豊かな表現力・言語力の育成も今後の課題である。協同学習や評価の中で、言語活動を充実させていかなければならない。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他( )